

令和5年度の施策別事業実績と評価等（事業別）

【基本施策１】 子どもがスポーツに親しむ機会の充実

			所属名	スポーツ振興課		
事業No.	事業名					
1	【重点事業】子どもを対象としたスポーツ事業の実施					
事業概要	①各体育館等において、子どもや親子が参加できるスポーツ事業（一般公開、教室・講習会、交流機会など）を開催する。 ②「子どもサポートプラン」を実施し、区立プールを中学生以下の子どもに対して無料で開放をする。					
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和5年度 実績	①各体育館等 駒場体育館 16,033人、区民センター体育館 44,184人、碑文谷体育館 24,075人、中央体育館 16,890人、八雲体育館 5,813人、宮前公園庭球場 139人、砧野球場・サッカー場 1,558名、五本木小学校屋内プール 8,249人、碑小学校屋内プール 12,375人、緑ヶ丘小学校屋内プール 11,910人 ②子どもサポートプラン 駒場体育館 1,179人、区民センター体育館 3,220人、五本木小学校屋内プール 1,112人、碑小学校屋内プール 2,086人、緑ヶ丘小学校屋内プール 2,052人					
評価の理由	新型コロナウイルスの影響もほぼなくなり、親子での参加がよりしやすいように保育付きの教室の実施や、教室事業の対象年齢の設定を広げるなど、より多くの親子や子どもが参加できるよう各施設で工夫しながら、一般公開、教室・講習会等を適切に継続して実施した。					
課題など	関係団体と協力して内容の充実及び日程の調整を行い、多くの区民が教室・講習会に参加できるよう検討を継続していく。					

			所属名	スポーツ振興課		
事業No.	事業名					
2	スポーツ観戦事業の実施					
事業概要	スポーツの感動や応援するきっかけとなるよう、トップアスリートの競技を観戦する。					
計画目標	新規	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和5年度 実績	トップアスリート競技観戦事業観戦種目及び参加者数 ・柔道 43人 ・空手 42人					
評価の理由	コロナ以前の規模に戻りつつある。					
課題など	特になし					

			所属名	子育て支援課（児童館）		
事業No.	事業名					
3	ティーンズフェスタインめぐろ					
事業概要	中高生の視点で文化的イベント・スポーツ的イベント等の企画、大人たちと世代を超えた交流を図り、中高生の社会参加と地域の活性化を図る。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した		コロナ影響	無
令和5年度実績	11月から1月までの3か月間に、全区的な分散型(各児童館単位等の小規模型)の中高生参画イベントを企画し実施した。基本は各館での実施だが、内容により複数館合同（区民センター体育館でのドッジボール大会、eスポーツ大会）でも実施した。 ・分散型のイベントではあるが、共通のチラシを作成して近隣の学校や来館者に配布したり参加を募ったりすることで目黒区をあげたイベントとしてPRを行った。					
評価の理由	分散型(各児童館単位等の小規模型)での実施は、地域の中高生への働きかけや希望を実現しやすく、中高生も参加しやすいというメリットがあった。中高生の声や利用の様子から「ドッジボール大会」と「eスポーツ」については、複数館共同で取り組むことで地域を超えた中高生の交流が実現した。					
課題など	中高生事業（イベント等）について、子ども総合計画「No.5104児童館における中高生の居場所の拡大（拡充事業）」に基づき、日常の利用にも繋がる事を目指し、取り組み方については「中高生と一緒に作っていく（中高生の参画）」ことを大切にし、引き続き今年度と同様に全区的な分散型イベントとして取り組んでいく。なお、各館の中高生対応の活性化の状況や中高生の声を鑑みながら、引き続き望ましいティーンズ・フェスタ開催のかたちを検討していく。					

			所属名	学校運営課		
事業No.	事業名					
4	めぐろ元気あっぷ教室の実施					
事業概要	肥満や体力不足など健康に課題のある児童を対象とした運動教室をめぐろ学校サポートセンター・区内小学校等で年間3期に分けて実施する。学校において児童観察している学校健康トレーナーが主体となって、児童に合わせた運動プログラムや生活プログラムを提供する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した		コロナ影響	無
令和5年度実績	・めぐろ元気あっぷ教室 会場：めぐろ学校サポートセンター、八雲小学校、碑小学校、中目黒小学校、五本木小学校、上目黒小学校 参加者：前期 延べ1,014人、後期 延べ1,036人 実施数：11コース各12回 ・夏季水中運動教室 期間：4日間 参加者：延べ123人 ・ワクワク特別講座 期間：1日 参加者：親子合わせて181人					
評価の理由	各学校に健康トレーナーが巡回することにより、健康課題のある児童を把握することで「めぐろ元気あっぷ教室」の指導カリキュラムも充実できている。また健康ミニ講話や自宅で取り組める運動プログラムの提供を行うことで、児童の健康課題の改善に繋げることができた。					
課題など	「めぐろ元気あっぷ教室」の参加児童数にコースにより人数に偏りが生じることがあるため、状況によったコース設定をしていく必要がある。					

			所属名	教育指導課	
事業No.	事業名				
5	東京駅伝開催に係る支援				
事業概要	東京都教育委員会主催の中学生「東京駅伝」大会に、目黒区の中学生を代表して出場し他区市の生徒と競い合うことで、生徒の競争力及び体力の向上を図りつつ、スポーツそのものや自らの体力について考える機会を設ける。				
計画目標	継続	目標に対する評価			コロナ影響
令和5年度実績	令和2年度で事業終了予定だったため、令和元年度の東京駅伝への支援をもって本事業は終了となった。				
評価の理由					
課題など					

			所属名	教育指導課			
事業No.	事業名						
6	学校における体育活動の充実 ①めぐろ子どもスポーツ健康手帳等の作成・配付 ②体力テストの実施						
事業概要	①子どもを取り巻く社会・家庭環境の変化に伴う基本的な生活習慣の変化を意識しつつ、健康教育を進めていくことが求められる中、子ども自身が自分の健康状態や体力を認識し、目標をもった取り組みに資する教材・資料を提供する。 ②体育の時間や体育的行事を通じ、生涯にわたり運動に親しむ態度を育てるとともに、体力テストにより子どもの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努める。						
計画目標	継続	目標に対する評価		B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和5年度実績	① ・令和4年度、体力向上推進委員会において作成した「めぐろ　ここカラダシート」を改訂して全校・園で実施した。 ② ・令和5年度全校体力テストを実施し、子どもが楽しく継続的に取り組むための指導方法の改善を図った。						
評価の理由	「めぐろ　ココカラダシート」と東京都統一体力テストの結果をスプレッドシートで記録に残し、グラフにして見える化することで、児童・生徒自身が生活の改善に努めることができることを体育主任会で周知した。						
課題など	令和6年度は、「めぐろ　ここカラダシート」を効果的に効果的に活用するために、活用する意義やねらいを明確にし、体育主任会で好事例を取り上げる等、具体的な活用を紹介していく必要がある。						

			所属名	学校運営課		
事業No.	事業名					
7	運動部の部活動(小学校の特設クラブを含む。)における外部指導員等に係る支援の実施					
事業概要	児童・生徒が自らの適性や興味・関心を伸ばし、体力の向上やスポーツを愛好する心を育む機会となる部活動の一層の活性化のため、教育の指導を補完する外部指導員等の確保と有効活用による質の高い指導の充実を図るとともに、大会参加等の公費負担による支援を行う。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した		コロナ影響	無
令和5年度実績	部活動数(運動部のみ)：小学校 2校2部、中学校9校76部 経費支出：試合参加児童・生徒旅費支出、試合参加費分担金支出、外部指導員等謝礼支出、部活動合宿参加経費支出 運動部指導員配置：部活動指導員25人、外部指導員49人 外部指導員全体研修会参加実績(運動部のみ)…春季実施（インターネット・DVDによる映像研修）、秋季実施（対面講義による研修）					
評価の理由	部活動指導員等、外部指導者の配置を希望する学校に対して配置した。 また、外部指導者の質の向上を図ることを目的に年2回の全体研修を計画どおり実施した。開催方法については、前年度までコロナ禍の実績を踏まえ、インターネット等を活用した映像視聴での研修を継続した。併せて、対面講義での研修を4年振りに再開し、各実施方式ともに受講者の評価は概ね良好であった。					
課題など	外部指導者の活用の推進に当たっては、部活動の地域連携・地域移行等を考慮しつつ、学校、関係部署とも連携の上対応する必要がある。 外部指導者を対象とした研修については、多様化するニーズをいかに把握し、資質向上に向けた満足度の高い研修機会を設けていくことが必要となっている。					